

育成を目指す資質・能力

- ・喫煙、飲酒、薬物乱用が及ぼす心身への様々な影響や健康を損なう原因を理解するとともに、それらの行為を助長する要因である個人の心理状態や人間関係、社会環境などに適切に対処する必要があることを理解すること。【知識】
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用について課題を発見し、健康な生活を送るための解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うこと。【思考力、判断力、表現力等】
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすること。【学びに向かう力、人間性等】

ICT活用のポイント

- ・喫煙、飲酒、薬物乱用についての正しい知識を学び、健康な生活を送るための課題を発見することにつなげる。
- ・調べたことを仲間と共有し、身近な課題として発表することに生かす。

課題把握

個人での情報調査等

調査したこと等の共有

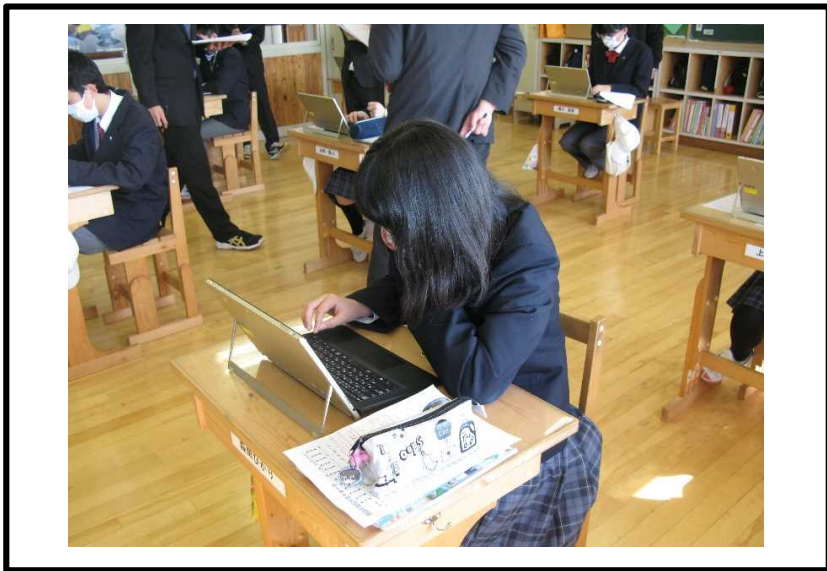
振り返り

事例の概要

- ・「生活習慣病などの予防」から生活の中で目にすることがある喫煙や飲酒、自分たちの身に迫ってきている薬物の乱用など、生徒が疑問に感じた項目をICT端末を使って調べる時間を設定する。
- ・現状について調査したことや課題と感じたこと、実践していきたいこと等を他者に伝わりやすいようにグラフや写真などを用いてプレゼンテーションソフトを使ってまとめる。
- ・生徒一人一人が作成したプレゼンテーションをグループで共有し合う時間を設ける。
- ・共有した後に、今後自分や他者の健康を高めるための解決方法として、仲間の発表からヒントになったことをさらに書き加えてまとめる。

中学校・第2学年・保健体育科（保健分野）・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康②

【ICT活用の場面①】



【ICTを効果的に活用するためのポイント】

- ・生徒が見通しをもって調べられるように、有益なウェブページをピックアップして提示する。

【生徒や教師にとってのICT活用のメリット】

- ・生徒は、課題や自分が調べたいことについて、自分のペースで調べることができる。
- ・教師は、生徒の学習の進捗や内容について教師の端末から把握することができるので、スムーズに支援を行うことができる。

【ICT活用の場面②】



【ICTを効果的に活用するためのポイント】

- ・生徒が調べたことを整理しやすいように、実態把握-課題発見-考察-発表といったワークシートをICT端末で配付する。

【生徒や教師にとってのICT活用のメリット】

- ・情報を共有する場面でICT機器を利用することで、準備が簡略化され、話し合いや共同作業の時間を増やすことができる。
- ・大型モニターやICT端末を活用することで、短時間で生徒が情報を共有することができる。

【活用したソフトや機能】

検索機能（ウェブブラウザ） プレゼンテーションソフト 学習支援ソフト